



図1-7 マグネットドライブポンプの構造図

1) 検査方法

- 1.1) 高圧設備部は、1.5～1.7により、検査を行う。
- 1.2) 特殊構造に伴う部分については、メーカ仕様により検査を行う。
- 1.3) 各種安全装置及び保護装置の作動の有無を検査する。

2) 判定及び処置

- 2.1) 高圧設備部は、2.1, 1.5～1.7により、正常なものは合格とする。
- 2.2) その他摺動部、駆動用マグネット等は、メーカ仕様により、正常なものは合格とする。
- 2.3) 各種安全装置及び保護装置が付加されている場合には、正常設定値で作動しないものは、調整するかまたは正常なものと交換する。

1.10 その他部品等*

- a) ベルトの適性な張りとその計算
- b) ポンプのNPSH
- c) 潤滑剤の選定とその適正量
- d) ポンプ組立時の所要トルクについて